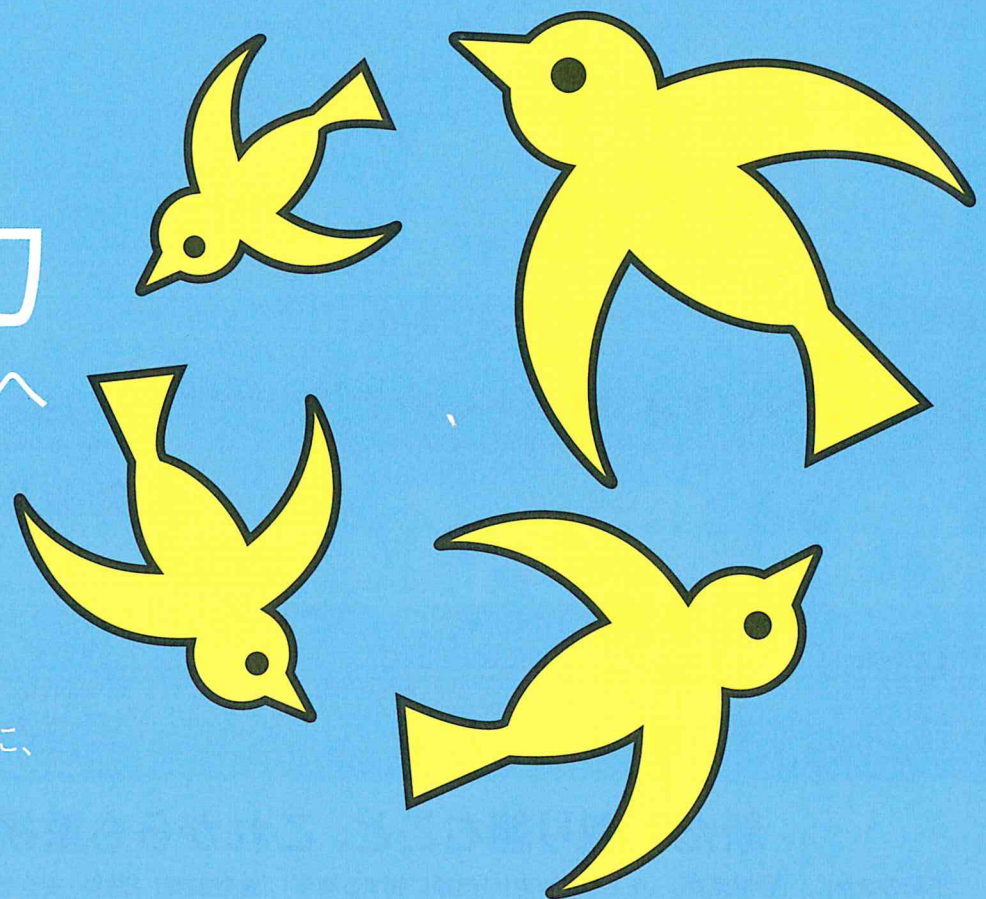


生きる力

学びの、その先へ



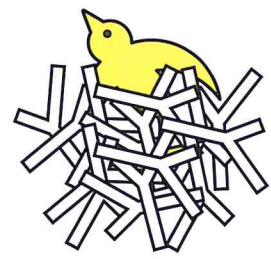
学校で学んだことが、
明日、そして将来につながるように、
子供の学びが進化します。
新しい学習指導要領、スタート。

小学校：2020年度～ 中学校：2021年度～ 高等学校：2022年度～

幼稚園は、2018年度に新しい幼稚園教育要領がスタート。特別支援学校は、小・中・高等学校学習指導要領に合わせて実施。

改訂に込められた願い

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、
それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。
そして、明るい未来を、共に創っていきたい。
新しい「^{がくしゅう し どう よう りょう}学習指導要領」には、そうした願いが込められています。



「学習指導要領」とは？

全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、
文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）
の基準です。およそ10年に一度改訂され、これを基
に子供たちの教科書や時間割が作られます。

小学校で学ぶ教科等は？

太字が新設・変更部分です。他の教科等についても、
育成を目指す資質・能力を明確にして、授業を改善します。
※2018年度から一部先行実施しています

- ・国語
- ・社会(3～6年)
- ・算数
- ・理科(3～6年)
- ・生活(1,2年)
- ・音楽
- ・図画工作
- ・家庭(5,6年)
- ・体育
- ・**外国語(5,6年)**
- ・**特別の教科 道徳**
- ・外国語活動(**3,4年**)
- ・総合的な学習の時間(3～6年)
- ・特別活動

くわしくは文部科学省「学習指導要領ウェブサイト」へ
各界で活躍中の著名人へのインタビューも！

URL http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm?mdia=pamp01



初等中等教育局教育課程課
〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 03-5253-4111 (代表)



「生きる力」を育むために

子供たちの学びはどう進化するの？

主体的・対話的で深い学び (アクティブ・ラーニング) の視点から

「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。

一つ一つの知識がつながり、
「わかった!」「おもしろい!」
と思える授業に

周りの人たちと共に考え、
学び、新しい発見や豊かな
発想が生まれる授業に



見通しをもって、粘り強く
取り組む力が身に付く授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや
生活に生かす力を育む授業に

カリキュラム・マネジメントを確立して
教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。

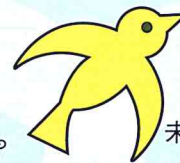


学校教育の効果を
常に検証して
改善する

教師が連携し、
複数の教科等の
連携を図りながら
授業をつくる

地域と連携し、
よりよい学校教育を
目指す

学んだことを人生や
社会に生かそうとする
**学びに向かう力、
人間性**など



実際の社会や
生活で生きて働く
知識及び技能

未知の状況にも
対応できる
**思考力、判断力、
表現力**など

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、
三つの力をバランスよく育みます。

新たに取り組むこと、これからも重視することは？

下記のほかに、「体験活動」「キャリア教育」「起業に関する教育」「金融教育」「防災・安全教育」「国土に関する教育」なども充実します。

プログラミング教育

コンピュータがプログラムに
よって動き、社会で
活用されていることを
体験し、学習します。

外国語教育

「聞くこと」「読むこと」
に加えて、「話すこと」
「書くこと」の力を育みます。

道徳教育

自分ごととして
「考え、議論する」
授業などを通じて
道徳性を育みます。

言語能力の育成

国語を要として
全ての教科等で
子供たちの言葉の
力を育みます。

理数教育

観察、実験などにより問題を
科学的に解決する学習活動や、
データを分析し、課題を解決する
ための統計教育を充実します。

伝統や文化に関する教育

我が国や郷土が
育んできた日本の
伝統や文化を学びます。

主権者教育

社会の中で自立し、
他者と連携・協働して
社会に参画する
力を育みます。

消費者教育

自立した消費者を育むため、
買物の仕組みや
消費者の役割などについて
学習します。

特別支援教育

全ての学校で障害に
応じた指導を行い、
一人一人の能力や
可能性を最大限に
伸ばします。

「特別の教科 道徳」では、児童がいかに成長したかを積極的に受け止めて、認め、励ますための評価（記述式）を行います。
特定の考え方を押し付けたり、評価を入試で使ったりしません。

お子さんが学校で学んだことについて、ご家庭で、ぜひ話してみてください。

保護者の皆さまの働きかけが、
子供たちの「生きる力」を育む
大きな原動力になります。
保護者の働きかけがある
子供の学力は高いという
傾向があります。

例えば…

- 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が多い。
 - テレビ・ビデオ・DVDを見る時間などのルールを決めている。
 - テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む）をする時間を限定している。
 - 子供に本や新聞を読むようにすすめている。
 - 子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
 - 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
 - 地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。
- (平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究)